

# 射水市内遺跡発掘調査報告9

— 平成27年度高島A遺跡本発掘調査他 —

2017年

富山県射水市教育委員会

# 射水市内遺跡発掘調査報告9

— 平成27年度高島A遺跡本発掘調査他 —

2017年

富山県射水市教育委員会



高島 A 遺跡【12 地区】 調査区全景 出土遺物（弥生土器）

卷首図版2



水戸田惣分I遺跡 調査状況 出土遺物（古墳ガラス玉・古代須恵器・中世珠洲）

# 射水市内遺跡発掘調査報告9

— 平成27年度高島A遺跡本発掘調査他 —

2017年

富山県射水市教育委員会



## 例 言

- 1 本書は、平成27年度に富山県射水市内において射水市教育委員会が実施した埋蔵文化財発掘調査の調査報告書である。
- 2 試掘調査・出土品整理・報告書刊行は、国庫補助金・県費補助金を受けて実施した。
- 3 対象となった埋蔵文化財、並びに調査に関する位置・原因・面積・期間等は各章に記した。
- 4 本書の執筆・編集は、射水市教育委員会生涯学習・スポーツ課主任 金三津英則が担当した。
- 5 遺物整理の従事者は、高瀬直子・吉沢泰子である。
- 6 発掘調査に係る遺物・図面・写真等の資料は、すべて射水市教育委員会で一括保管している。

## 凡 例

- 1 本書で用いた座標は世界測地系第Ⅷ系に準拠した。方位は真北、水平基準は海拔高である。
- 2 遺構の分類記号は次の呼称を踏襲した。 SD : 溝 SK : 土坑 SX : 不明遺構
- 3 遺構実測図の縮尺は各々のスケールとともにその縮尺を表記した。遺物実測図の縮尺は1/4とし、スケールとともにその縮尺を表記した。
- 4 出土遺物の番号は、遺物実測図・遺物観察表・写真図版の遺物番号にそれぞれ対応している。
- 5 本書で用いた土層の色調は、小山正忠・竹原秀雄編著『新版標準土色帖』に準拠している。
- 6 第4章第1節における発掘地区図版の試掘トレンチ脇の記号は、遺物の出土位置を示し種類は次のとおりとした。
  - ：弥生土器 ○：古墳土師器 ▽：古代土師器 ▲：須恵器 ■：珠洲 □：中世土師器
  - ◎：近世陶磁器 ⊗：石製品 ☆：不明土師器 T：トレンチ（試掘坑）
- 7 遺物実測図中の土器断面の表現は次のとおりとした。
  - ：須恵器・珠洲 ■■：煤・炭化物 ■■■：赤彩処理

## 目 次

第1章 遺跡の位置と歴史的環境	1
第2章 高島A遺跡本発掘調査	3
第3章 水戸田惣分I遺跡工事立会調査	9
第4章 その他の遺跡調査	11
第1節 平成27年度試掘調査概要	13
1. 日の宮城跡 2. 作道遺跡	13
3. 八塚A遺跡 4. 水上遺跡	14
5. 今井南遺跡 6. 塚越A遺跡	15
7. 高島A遺跡 8. 大開遺跡	16
9. 加茂社遺跡 10. 八塚C遺跡	17
11. 五歩一遺跡 12. 沖塚原東B遺跡	18
13. 大江遺跡 14. 黒河尺目遺跡	19
15. 八塚C遺跡 16. 塚越大沢II遺跡	20

# 卷首図版目次

卷首図版1 高島A遺跡【12地区】 調査区全景 出土遺物（弥生土器）

卷首図版2 水戸田惣分I遺跡 調査状況 出土遺物（古墳ガラス玉・古代須恵器・中世珠洲）

# 挿図目次

第1図 射水市の位置	1
第2図 遺跡の位置と周辺の遺跡	2
第3図 発掘区位置図【高島A遺跡】	3
第4図 遺構実測図【高島A遺跡12地区】	5
第5図 遺物実測図【高島A遺跡12地区】	6
第6図 遺物実測図【高島A遺跡12地区】	7
第7図 調査対象地及び周辺の遺跡	9
第8図 遺物出土位置図	9
第9図 遺物実測図【水戸田惣分I遺跡】	10
第10図 試掘調査位置図	12
第11図 遺物実測図【水上遺跡・塚越A遺跡・高島A遺跡】	21

# 表目次

第1表 出土遺物観察表【高島A遺跡12地区】(1~49)	8
第2表 出土遺物観察表【水戸田惣分I遺跡】(1~16)	10
第3表 平成27年度埋蔵文化財発掘調査一覧	11
第4表 出土遺物観察表【試掘調査】(1~14)	21

# 図版目次

図版1 高島A遺跡【12地区】	遺構全景・溝S D03・土坑S K02・S K06・S K07
図版2 高島A遺跡【12地区】	出土遺物（弥生土器・土玉）
図版3 高島A遺跡【12地区】	出土遺物（弥生土器）
水戸田惣分I遺跡	出土遺物（古墳ガラス玉・古代須恵器・中世珠洲）
図版4 水戸田惣分I遺跡 工事立会調査	表土掘削・掘削完了・出土遺物（同上）
図版5 作道遺跡試掘調査	1T全景・1T土層断面・出土遺物（弥生土器）
図版6 水上遺跡試掘調査	2T全景・1T遺構検出・出土遺物 (古代須恵器・近世陶磁器・不明土師器)
図版7 塚越A遺跡試掘調査	調査対象地全景・1T土層断面・出土遺物（明治小杉焼）
図版8 高島A遺跡試掘調査	3T全景・4T遺構検出・出土遺物 (弥生土器・古墳土師器・中世土師器・中世珠洲)
図版9 五歩一遺跡試掘調査	調査対象地全景・4T土層断面・出土遺物（不明土師器）
図版10 大江遺跡試掘調査	調査対象地全景・2T全景・2T遺構検出

# 第1章 遺跡の位置と歴史的環境

射水市は富山県のはば中央に位置し、市域は東西約11km、南北約15kmで総面積109.43km<sup>2</sup>である。北部に富山湾、中央に射水平野、南部に射水丘陵を配し、標高0~140mを測る。富山市・高岡市と隣接し、交通の便に恵まれていることから、住宅団地造成が頻繁に行われ、ベットタウン化が進んでいる。現在の人口は約9万4千人弱である。

射水平野は、東の神通川と西の庄川に挟まれた東西約11km、南北約7kmの範囲の低湿地帯である。およそ1万~8千年前に形成された複合扇状地性三角州沖積平野で、河川によって運ばれた土砂や粘土・礫が堆積している。この沖積層が堆積した時代は、海岸線が沖へ後退して平野部は現在より広かったとみられ、その後は気候変化による繩文海進とよばれる海面上昇により、海岸線が陸へ進行して平野部が狭まり、現地形で標高約5m以下は海面下に没することになる。やがて気候の寒冷化による海面後退、河川の土砂が堆積することでかつての海は小さく放生津潟（現：富山新港）としてのみ形を残し、周辺に湿原が現れる。この湿原は放生津潟の水面と標高差が殆どないため、河川の流れが濱び沼沢地を形成、湿原の植物が枯れて泥炭が堆積し、平野部が開けていくことになる。また、射水丘陵は新生代第三紀の青井谷泥岩層を基盤とし、上層に礫と砂泥からなる日ノ宮互層と太閤山火砕岩層が堆積している。鍛冶川・

下条川・和田川やその支流によって河岸段丘や樹枝状の谷間が形成されている。このような自然環境の中で、先人達は集落を形成していくと考えられる。現在、市内には459箇所の遺跡が密集し、平野部に集落遺跡、丘陵部に生産遺跡が多く確認されている。

丘陵部では国指定史跡の小杉丸山遺跡、小杉丸山遺跡、上野南遺跡、赤坂A~D遺跡など生産遺跡が集中している。これらの遺跡は須恵器窯跡約39遺跡、製鉄遺跡約147遺跡を数えており県内最大規模を有する。須恵器生産窯跡や鉄生産製鉄炉と炭焼窯、工人の住居や作業場が見つかり、窯や炉を築くのに適した地形、粘土や薪・水の供給源が豊富にあることが好条件であったと考えられている。平野部では河川に近い地域に高島A遺跡、北高木遺跡、二口油免遺跡、小杉伊勢領遺跡などの集落遺跡が分布し、堅穴建物や掘立柱建物、溝や井戸などが確認されている。生産地である丘陵部と消費地である平野部を河川が結んで、交通路として機能していたために集落が営まれてきたと考えられている。

高島A遺跡は、庄川右岸に形成された標高約1.5m前後の沖積低地に立地し、弥生・古墳時代を主体とする遺跡である。遺構では弥生時代中期の周溝をもつ平地式建物や方形周溝墓、遺物では全国初となる装飾性に富んだ二枚貝を思わせる弥生時代の石製品も出土している。

水戸田地区は市内ほぼ中央に位置する。東西約0.9km、南北約2.3kmを測り、北部は水田地帯、南部は丘陵地となっている。その丘陵地には全長43mの前方後円墳である五歩一古墳や瓦陶兼業窯である国指定史跡小杉丸山遺跡を中心に、古墳時代~古代に至る古墳・須恵器窯・製鉄炉等が確認されている。



第1図 射水市の位置



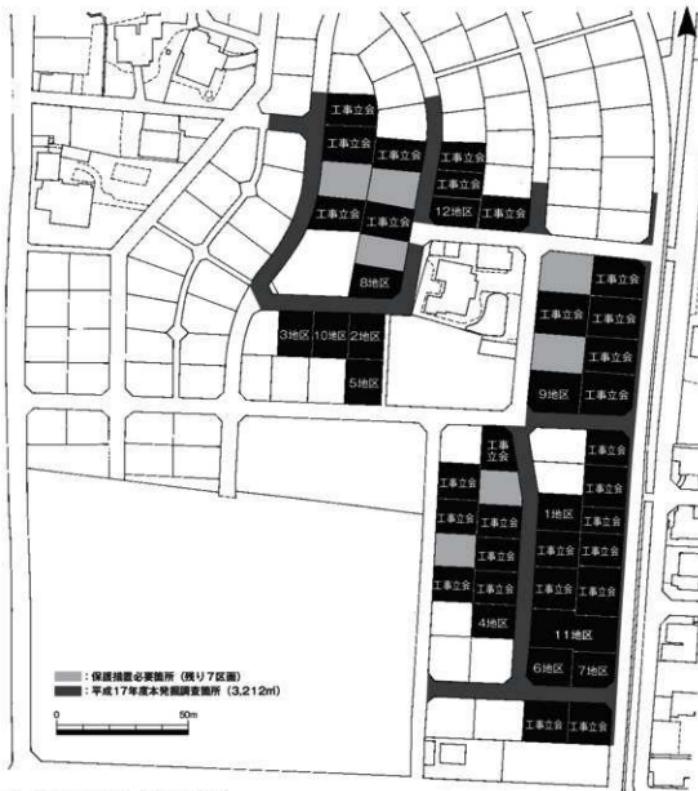
第2図 遺跡の位置と周辺の遺跡

●高島 A 道路 ●小杉丸山遺跡 ●小杉流通業務団地内道路  
●上野南遺跡 ①～③赤坂 A～D 道路 ●北高木道路  
●二口油免遺跡 ④小杉伊勢館道路 ⑤五歩一古墳群

## 第2章 高島A遺跡本発掘調査

### 第1節 調査に至る経緯

平成13年度、新湊市（現射水市）鏡宮地区における土地区画整理事業計画の照会を受けた。平成14年度、事業計画地が埋蔵文化財包蔵地（高島A遺跡）に含まれることから、遺跡保護と工事計画の調整を図る目的で試掘調査を実施した。その結果、計画地南側半分の約25,000m<sup>2</sup>を中心に弥生時代中期から古墳時代前期の遺構・遺物を確認した。このため、遺構に影響が及ぶ工事等を実施する場合は、本発掘調査による記録保存が必要との判断を示した。平成17年度、造成工事に先立ち計画道路部分の3,212m<sup>2</sup>において本発掘調査を実施した。平成19年度、分譲が開始された宅地49区画で遺跡の保護措置が必要となり、工事が地下遺構に与える影響を判断しながらの対応となった。平成19～26年度で11件、平成27年度1件で計12区画の本発掘調査を完了した。これまでに29件の工事立会も実施し、残り7区画分の保護措置は平成28年度以降の対応となった。



第3図 発掘区位置図【高島A遺跡】

## 第2節 調査の概要

調査区は造成工事により山砂の盛土がなされていたため、まず重機で盛土と旧水田耕作土を除去し、その後に作業員を投入して、遺構検出、遺構掘削、遺物取り上げを順次人力で行った。作業の進捗状況に応じて写真撮影（高精細デジタル）や遺構概略図（1/100）、遺構断面図・遺構平面図（1/20）作成等の記録図化作業を実施した。調査終了後は、埋め戻しを行い現状復帰を図っている。その際に住宅基礎工事の改良掘削深度より深い遺構が検出された地区では、不同沈下防止のため新たな山砂を充填し重機で踏み固めている。

調査区の基本層序は1～3層に分層される。上から1層は山砂の造成盛土、2層は山砂の下の旧水田耕作土、3層は灰黄色（2.5Y7/2）シルトの地山である。遺構は全て3層から掘り込まれている。

## 第3節 遺構と遺物 [12地区]

### 3号溝（SD03、第4・5図、図版1・2）

調査区西端部を南北に流れる溝であり、調査区内での最大幅0.8m、深さは北側の最深部で30cmを測る。

遺構の大部分は調査区外の西側へ広がるとみられ、北端部付近では隣接する2号土坑（SK02）の西半部を切っている。弥生時代後期の壺（第5図1）が出土している。

### 4号土坑（SK04、第4・5図、図版1・2）

調査区南西側に位置する楕円形の土坑で、東西1.1m、南北0.8m、深さ9cmを測る。南西に近接して5号土坑（SK05）がある。弥生時代後期の壺（第5図2）が出土している。

### 6号土坑（SK06、第4・5図、図版1～3）

調査区のはば中央に位置する不整形の土坑で、東西2.1m、深さ10cmを測る。遺構の南東部分は調査区外へ広がる。

遺物は、内外面をハケ調整で仕上げた壺（第5図4～7）や、壺（壺）の口唇部を櫛状工具で刻むもの（第5図3）など、弥生時代中期の土器が出土している。

### 7号土坑（SK07、第4・5図、図版1・2）

調査区の南端部、6号土坑（SK06）の南に隣接する土坑で、南北1.2m、深さ20cmを測る。遺構の東半部分は調査区外へ広がる。

遺物は、口縁部外面に櫛状工具による格子状の刻みを施す鉢（第5図14）や、口縁部内面に羽状文を施す壺（第5図15）、外面を赤彩し3段の簾状文と波状文を施す壺（第5図16）、壺類（第5図10～12）の他、土鍤（第5図13）など、弥生時代中期の土器が出土している。

### 1号不明遺構（SX01、第4～6図、図版1～3）

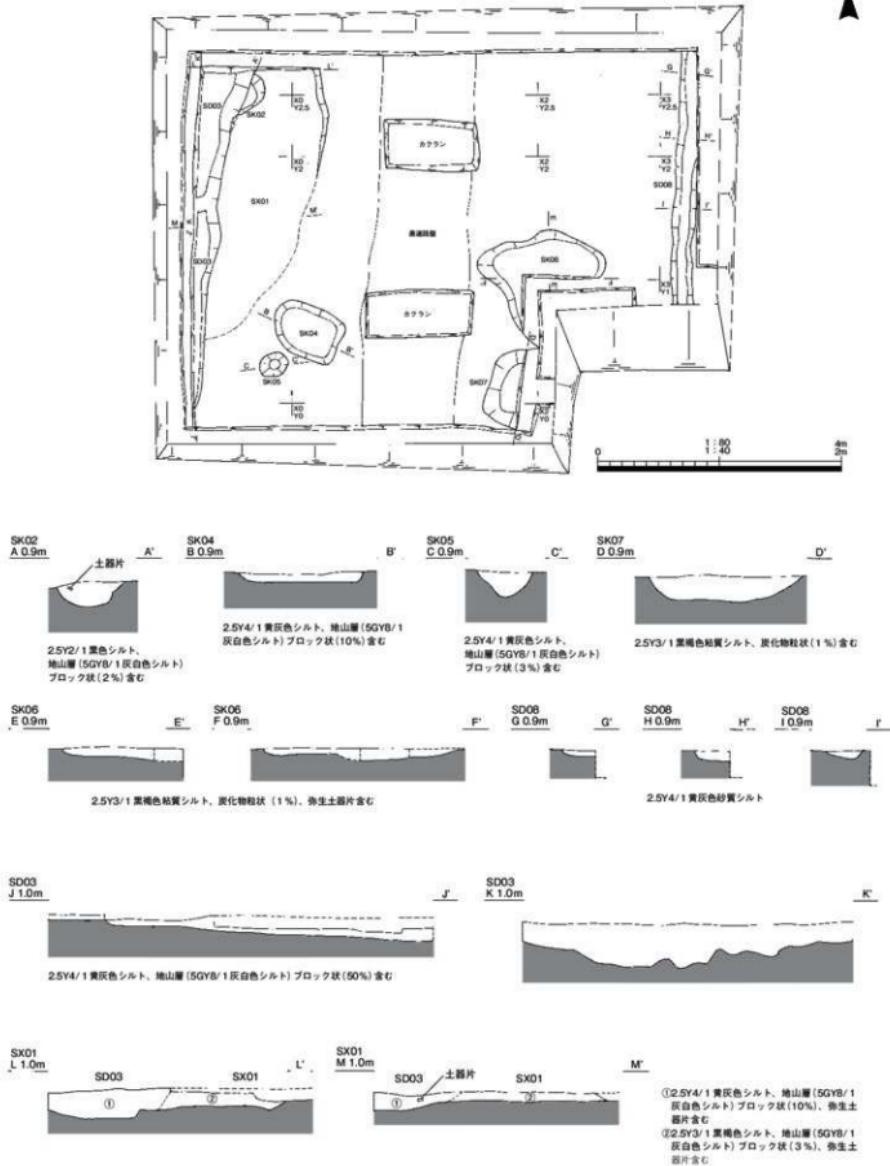
調査区北西の3号溝（SD03）の西側に隣接した南北4.4m、東西1.5mの範囲に広がる窪地であり、遺構検出時に遺物包含層出土としたものも含め、弥生時代中・後期の弥生土器、古墳時代前期の土師器（第5図17～23、第6図24～39）を多量に含んだ土器溜りとなっている。

平成17年度に、調査区西側の隣接道路敷において実施した本発掘調査C2地区でも、同様の土器溜りが確認されており、今回の調査区において検出したこの土器溜りは、平成17年度調査区から続く一連の遺構であり、3号溝（SD03）周囲の窪地を利用した土器廃棄場であったと考えられる。

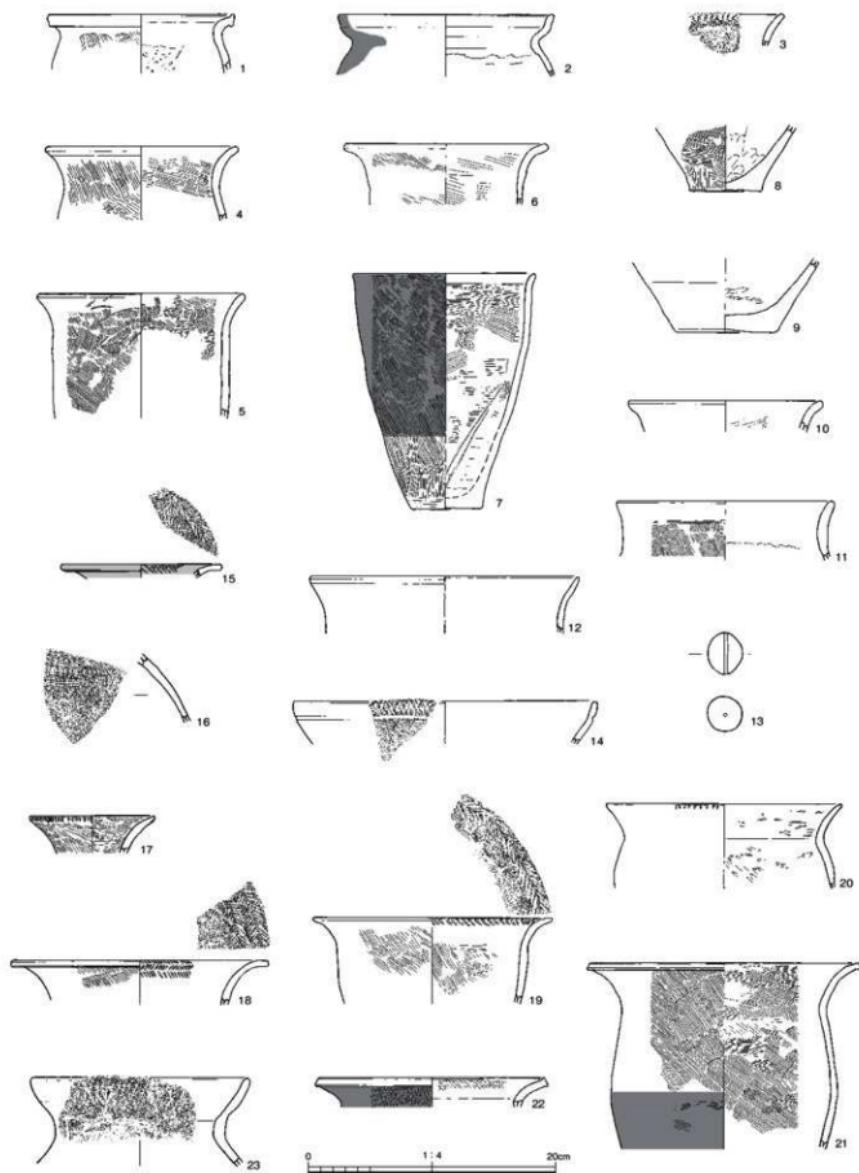
## 参考文献

金三津英則他 2006年『高島A遺跡発掘調査報告書－鏡宮高島土地区画整理事業に伴う発掘調査－』

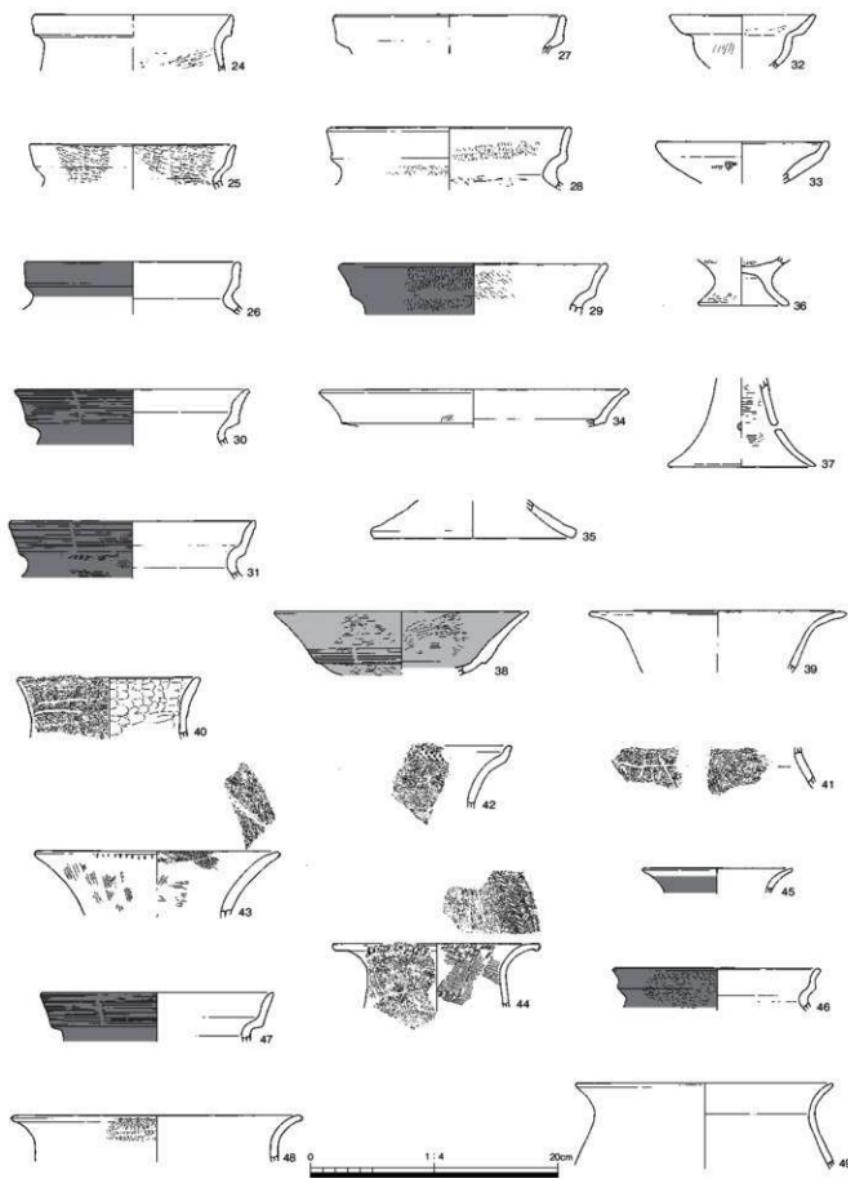
射水市教育委員会



第4図 遺構実測図【高島A遺跡12地区】(1/80、断面図1/40)



第5図 遺物叢測図「高島A遺跡12地区」(1/4)



第6図 遺物実測図【高島A遺跡12地区】(1/4)

団版	No.	出土遺構	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	備考	残存量
第5回	1	SD03	弥生土器	甕	15.0				口1/4
	2	SK04	弥生土器	甕	17.5			外面煤付着	口1/5
	3	SK05	弥生土器	甕(縫)				刻み目文	破片
	4	SK06	弥生土器	甕	15.3				口1/12
	5	SK06	弥生土器	甕	16.6				口1/8
	6	SK06	弥生土器	甕	16.3				口1/8
	7	SK06	弥生土器	甕	14.8	19.3	5.7	外面煤付着	はげ完存
	8	SK06	弥生土器	甕(縫)			5.8		底3/4
	9	SK06	弥生土器	甕(縫)			8.6		底1/2
	10	SK07	弥生土器	甕	15.5				口1/2
	11	SK07	弥生土器	甕	17.6				口1/4
	12	SK07	弥生土器	甕	21.7				口1/8
	13	SK07	土製品	土錐	短2.8	長3.3		貫通孔	完形
	14	SK07	弥生土器	鉢	24.7			格子状文	口1/16
	15	SK07	弥生土器	壺	13.0			内外面赤彩 羽状文	口3/16
	16	SK07	弥生土器	壺				外面赤彩 縱状文 波状文	破片
	17	SX01	弥生土器	壺	10.0			刻み目文	口1/2
	18	SX01	弥生土器	甕	20.6			羽状文	口1/16
	19	SX01	弥生土器	甕	19.4			羽状文	口1/4
	20	SX01	弥生土器	甕	18.6			刻み目文	口3/16
	21	SX01	弥生土器	甕	21.8			外面煤付着	口5/6 体1/3
	22	SX01	弥生土器	甕	18.2			外面煤付着	口1/8
	23	SX01	弥生土器	壺	17.6			格子状文	口3/16
第6回	24	SX01	弥生土器	甕	16.0				口1/16
	25	SX01	弥生土器	甕	16.6				口1/8
	26	SX01	弥生土器	甕	17.2			外面煤付着	口1/8
	27	SX01	弥生土器	甕	18.6				口1/8
	28	SX01	弥生土器	甕	19.5				口1/2
	29	SX01	弥生土器	甕	21.6			外面煤付着	口1/16
	30	SX01	弥生土器	甕	18.8			外面煤付着 摳凹線文	口1/12
	31	SX01	弥生土器	甕	19.8			外面煤付着 摳凹線文	口1/8
	32	SX01	弥生土器	小型鉢	11.5				口1/8
	33	SX01	弥生土器	高坪(壺台)	13.8				口1/6
	34	SX01	弥生土器	高坪(壺台)	24.6				口1/8
	35	SX01	弥生土器	高坪(壺台)			脚16.3		底1/8
	36	SX01	弥生土器	高坪			脚 7.3	外面一部赤彩	底1/4
	37	SX01	弥生土器	器台			脚11.7	穿孔1箇所	底1/6
	38	SX01	弥生土器	器台	(20.6)			内外面赤彩 沈線文	破片
	39	SX01	弥生土器	高坪(壺台)	19.8				口1/8
	40	X2 Y1	弥生土器	壺	14.8			線刻文	口3/16
	41	X2 Y1	弥生土器	甕(縫)				線刻文	破片
	42	X1 Y3	弥生土器	甕				格子状文	破片
	43	X2 Y1	弥生土器	甕	19.7			羽状文 刻み目文	口1/10
	44	X2 Y1	弥生土器	甕	16.8			外面煤付着 羽状文 刻み目文	口1/8
	45	X2 Y1	弥生土器	甕	12.0			外面煤付着	口1/12
	46	X0 Y1	弥生土器	甕	16.6			外面煤付着	口1/8
	47	X1 Y2	弥生土器	甕	(18.9)			外面煤付着 摳凹線文	破片
	48	X2 Y1	弥生土器	甕	23.2			刻み目文	口1/16
	49	X2 Y1	古墳土師器	甕	20.9				口1/8

第1表 出土遺物観察表【高島A遺跡12地区】

口：口縁部 底：底部 体：体部

## 第3章 水戸田惣分Ⅰ遺跡工事立会調査

### 第1節 調査に至る経緯と調査の経過

水戸田地区では、平成24～30年度までの7か年計画で県営は場整備事業が実施されている。射水市教育委員会では、事業計画地内に所在する埋蔵文化財の保護のため、平成23年度に事業計画地全域の約69haを対象に分布調査を実施し、平成24～26年度にかけて約28haを対象に試掘調査を実施した。

これと並行して、保護盛土による埋蔵文化財の現状保存を基本に、既存水路の拡幅等、狭小工事区域において工事立会調査を実施するなど、事業計画との埋蔵文化財保護との調整を図っている。



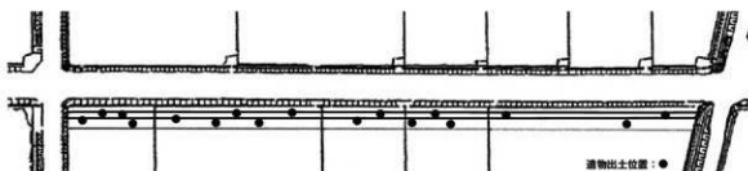
第7図 調査対象地及び周辺の遺跡（1：25,000）

- 水戸田惣分Ⅰ遺跡
- 水戸田遺跡
- 水戸田神明堂遺跡
- 生源寺Ⅰ遺跡
- 生源寺Ⅱ遺跡
- 市ノ井東道路
- 綱田道路
- 本田宮田道路
- 本田畠道
- 水戸田前野道路
- 水戸田惣分Ⅱ遺跡
- 大白北道路
- 下条新道路
- 二の井Ⅳ道路

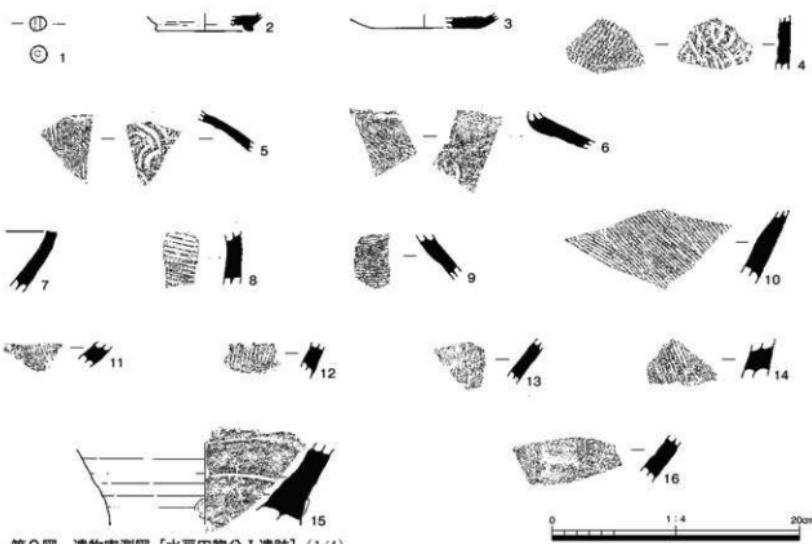
### 第2節 調査のまとめ（図版3・4）

平成27年度は、水戸田惣分Ⅰ遺跡の範囲にあたる市道大門本江大白線沿いの延長約140m区間において、10月21日～11月4日にかけての延4日間、ほ場の表土漉き取り及び水路掘削工事の際に工事立会調査を実施し、遺構・遺物の有無を確認した。

今回の調査において、遺構の存在は確認できなかった。遺物は、全て表土中からではあるが、調査対象範囲の西側を中心に、ほぼ全域で古代の須恵器や中世の珠洲等が出土した。特筆すべき遺物として、径13mm、高さ10mmの青緑色のガラス丸玉（第9図1）が1点出土している。



第8図 遺物出土位置図



第9図 遺物実測図 [水戸田惣分I遺跡] (1/4)

図版	No.	出土地区	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	備考	残存量
1	12	ガラス製品	玉	断13	1.1			青緑色	完形
2	6	須恵器	壺			7.7			底1/6
3	3	須恵器	壺			8.6			底1/4
4	6	須恵器	甕(蓋)					青海波文	破片
5	6	須恵器	甕(蓋)					青海波文	破片
6	17	須恵器	甕(蓋)						破片
7	8	珠洲	片口鉢						破片
8	5	珠洲	甕						破片
9	不明	珠洲	甕						破片
10	16	珠洲	甕					指頭圧痕	破片
11	7	珠洲	片口鉢					卸目7条	破片
12	15	珠洲	片口鉢					卸目13条	破片
13	10	珠洲	片口鉢					卸目10条	破片
14	16	珠洲	甕						破片
15	7	珠洲	甕						破片
16	3	珠洲	片口鉢					卸目7条	破片

第2表 出土遺物観察表 [水戸田惣分I遺跡]

底：底部

## 第4章 その他の遺跡調査

平成27年度に射水市教育委員会が実施した埋蔵文化財の調査件数は、試掘調査16件・本発掘調査2件・工事立会16件であった。昨年度と同様に、調査原因としては個人専用住宅の建築が最も多く、全体の6割弱を占めている。調査後の措置では、住宅地として整備される高島A遺跡試掘調査対象地において遺跡の広がりが確認されたため、盛土や記録保存等の埋蔵文化財保護措置について協議を行った。

試掘調査

No	遺跡名	所在地	原因	調査期間	対象面積	発掘面積	種別	検出遺構	出土遺物	調査後の措置
1	日の宮城跡 211149	中太閤山6丁目 10番	宅地造成	H27.5.14	338.31 m <sup>2</sup>	10.86 m <sup>2</sup>	集落・城壁	なし	なし	工事実施 (支障なし)
2	作道 211030	作道365-2 外1筆	店舗建設	H27.5.15	2942.04 m <sup>2</sup>	2814 m <sup>2</sup>	散布地・ 集落	なし	弥生土器	工事実施 (支障なし)
3	八塚A 211447	北野字南野 1668-1	個人専用 住宅建築	H27.6.24	171.84 m <sup>2</sup>	16.20 m <sup>2</sup>	散布地・ 集落	なし	なし	工事実施 (支障なし)
4	水上 211086	三ヶ1724番1	個人専用 住宅建築	H27.6.24	288.00 m <sup>2</sup>	16.59 m <sup>2</sup>	散布地・ 集落	近畿：土坑 不明：溝・土坑	古代須恵器・近畿陶磁 器・不明土器	工事実施 (支障なし)
5	今井南 211042	今井377番	個人専用 住宅建築	H27.7.24	489.00 m <sup>2</sup>	16.10 m <sup>2</sup>	散布地	なし	なし	工事実施 (支障なし)
6	堀越A 211139	堀越1324	個人専用 住宅建築	H27.8.10	499.00 m <sup>2</sup>	10.64 m <sup>2</sup>	散布地・集 落・製鐵	なし	明治小杉焼	工事実施 (支障なし)
7	高島A 211027	鏡宮弥生2丁目 76番外2筆	宅地造成	H27.10.5-6	1416.76 m <sup>2</sup>	116.60 m <sup>2</sup>	集落	弥生:溝 中世:土坑 不明:溝・土坑	弥生土器・古墳土器 中世磁器・中世土器	保存協議中 (1194 m <sup>2</sup> )
8	大岡 211119	黒河新4951-1	集合住宅 建設	H27.10.13	588.29 m <sup>2</sup>	21.76 m <sup>2</sup>	散布地	なし	なし	工事実施 (支障なし)
9	加茂社 211088	三ヶ2703-1	集合住宅 建設	H27.10.16	958.00 m <sup>2</sup>	44.80 m <sup>2</sup>	散布地・ 集落	なし	なし	工事実施 (支障なし)
10	八塚C 211448	八塚1101-3	個人専用 住宅建築	H27.10.29	175.45 m <sup>2</sup>	10.00 m <sup>2</sup>	散布地・ 集落	なし	なし	工事実施 (支障なし)
11	五歩一 211155	橋下条191番 外3筆	病院建設	H27.11.12	4147.00 m <sup>2</sup>	130.50 m <sup>2</sup>	散布地	なし	不明土器	工事実施 (支障なし)
12	沖塚原東B 211034	沖塚原76-2 外2筆	資材収置 造成	H27.12.22	2116.00 m <sup>2</sup>	37.50 m <sup>2</sup>	散布地	不明溝	なし	工事実施 (支障なし)
13	大江 211064	大江435番1	駐車場及び 資材貯蔵 造成	H28.1.14	939.00 m <sup>2</sup>	72.50 m <sup>2</sup>	散布地・ 集落	不明溝	なし	工事実施 (支障なし)
14	黒河尺目 211104	中老田新字星丸 550番21	個人専用 住宅建築	H28.2.26	104.92 m <sup>2</sup>	7.30 m <sup>2</sup>	散布地・ 集落	なし	なし	工事実施 (支障なし)
15	八塚C 211448	二口字早稲田 1590番3外1筆	個人専用 住宅建築	H28.2.26	329.00 m <sup>2</sup>	21.10 m <sup>2</sup>	散布地・ 集落	なし	なし	工事実施 (支障なし)
16	堀越大沢II 211137	堀越大沢1835番	個人専用 住宅建築	H28.3.23	490.00 m <sup>2</sup>	24.30 m <sup>2</sup>	散布地	なし	なし	工事実施 (支障なし)
計		15 遺跡 16件			対象面積	15992.61 m <sup>2</sup>	発掘面積	58489 m <sup>2</sup>		

本発掘調査

No	遺跡名	所在地	原因	調査期間	発掘面積	種別	検出遺構	出土遺物
1	高島A 211027	鏡宮弥生1-97	個人専用 住宅建築	H27.5.7～ 5.22	64.0 m <sup>2</sup>	集落	弥生:溝・土坑	弥生土器・古墳土器・ 中世珠渦 (記録保存)
2	加茂社 211088	三ヶ2669 外1筆	宅地造成	H27.6.1～ 6.17	183.0 m <sup>2</sup>	散布地・ 集落	古代:溝・土坑 不明:溝・土坑	古代須恵器・中世珠渦・ 不明土器 (記録保存)
計	2 遺跡 2件				発掘面積	247.0 m <sup>2</sup>		

\*田中 明 2015年『加茂社道路発掘調査報告』

第3表 平成27年度埋蔵文化財発掘調査一覧



第10図 試掘調査位置図

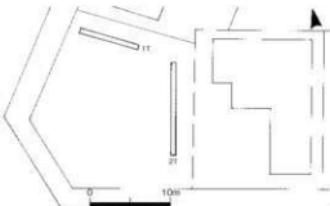
## 第1節 平成27年度試掘調査概要

### 1. 日の宮城跡

所在地 射水市中太閤山6丁目10番  
調査期間 平成27年5月14日  
調査面積 対象面積: 338.31 m<sup>2</sup> 発掘面積: 10.86 m<sup>2</sup>  
調査原因 宅地造成  
調査担当者 梶垣尚美  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし

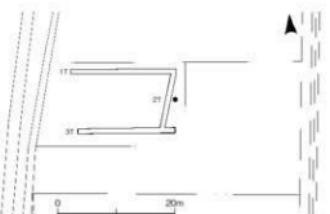
**調査概要** 調査対象地は、日の宮城跡東方の住宅地に位置し、造成盛土直下に地山の黄灰色(2.5Y7/2)シルトが現れる。

2 T北側において、礫・木片・コンクリートを含む宅地造成時の埋め立てとみられる谷状地形を検出したが、その他遺構・遺物は確認できなかった。



### 2. 作道遺跡（図版5）

所在地 射水市作道365-2 外1筆  
調査期間 平成27年5月15日  
調査面積 対象面積: 2,942.04 m<sup>2</sup> 発掘面積: 28.14 m<sup>2</sup>  
調査原因 店舗建設  
調査担当者 梶垣尚美  
検出遺構 なし  
出土遺物 弥生土器

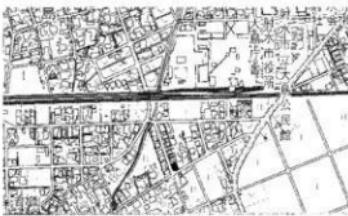


**調査概要** 現況は標高約0.8mの水田である。

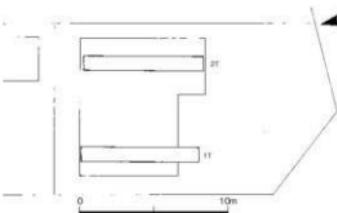
水田耕作土 15cm程度を除去すると、直下にぶい黄褐色(10YR6/4)シルトの地山が現れる。調査対象地の北側隣接地では、平成9年度・16年度にそれぞれ試掘調査・本発掘調査が実施されており、弥生時代中期の遺構・遺物の広がりが確認されているが、今回の調査において、遺構は確認できなかった。

### 3. 八塚A遺跡

所 在 地 射水市北野字南野 1668-1  
調査期間 平成27年6月24日  
調査面積 対象面積: 171.84 m<sup>2</sup> 発掘面積: 16.2 m<sup>2</sup>  
調査原因 個人専用住宅建築  
調査担当者 田中 明・長田裕二  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし



調査概要 調査対象地は、八塚A遺跡範囲の北端に位置する造成済みの宅地である。  
上層から順に、明黄褐色の造成盛土、黄灰色の旧水田耕作土が堆積し、地山の明緑灰色(7.5GY8/1)シルト層に至る。地山は、南側に向かって緩やかに傾斜している。  
今回の調査において、遺構・遺物は確認できなかった。



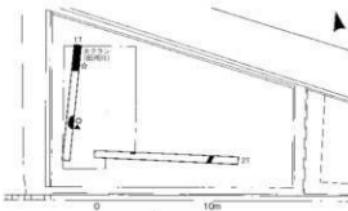
### 4. 水上遺跡 (第11図・図版6)

所 在 地 射水市三ヶ 1724番1  
調査期間 平成27年6月24日  
調査面積 対象面積: 288.0 m<sup>2</sup> 発掘面積: 16.59 m<sup>2</sup>  
調査原因 個人専用住宅建築  
調査担当者 田中 明・長田裕二  
検出遺構 近世土坑・不明溝・不明土坑  
出土遺物 古代須恵器・近世陶磁器・不明土師器



調査概要 調査対象地は、水上遺跡範囲の東端付近に位置する水田であり、水田耕作土直下で浅黄色(2.5Y7/4)シルトの地山が現れる。1Tでは、中央部で南北径約1.2mの近世土坑を2、2Tでは、時期不明の溝・土坑をそれぞれ検出した。

遺物は、須恵器・土師器・越中瀬戸等が出土しているが、いずれも細片であり、他の遺物は水田耕作土からの出土である。



## 5. 今井南遺跡

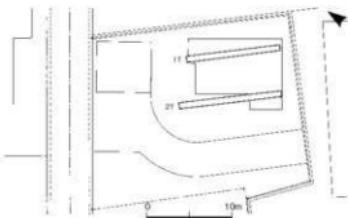
所 在 地 射水市今井377番  
調査期間 平成27年7月24日  
調査面積 対象面積: 489.0 m<sup>2</sup> 発掘面積: 16.1 m<sup>2</sup>  
調査原因 個人専用住宅建築  
調査担当者 田中 明・長田裕二  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし



調査概要 調査対象地は、今井南遺跡範囲の北端付近に位置する造成済みの宅地である。上層から順に、90cm程度の造成盛土、旧水田耕作土が堆積し、地山の緑灰色(10GY6/1)砂層に至る。

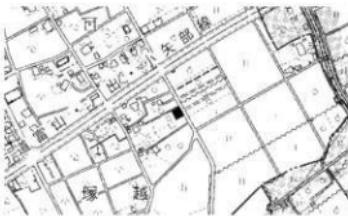
地山は、西側に向かって緩やかに傾斜し、湧水がある。

今回の調査において、遺構・遺物は確認できなかった。



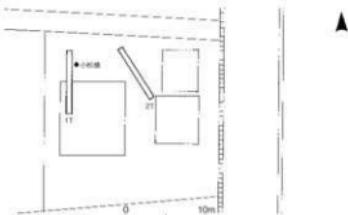
## 6. 塚越A遺跡 (第11図・図版7)

所 在 地 射水市塚越1324  
調査期間 平成27年8月10日  
調査面積 対象面積: 499.0 m<sup>2</sup> 発掘面積: 1064 m<sup>2</sup>  
調査原因 個人専用住宅建築  
調査担当者 田中 明・長田裕二  
検出遺構 なし  
出土遺物 明治小杉焼



調査概要 調査対象地は、塚越A遺跡範囲の南端に位置する畠地であり、黒色の表土下約40cmで地山の灰白色(25Y8/2)シルト層が現れる。

調査対象地の北方約80mの地点では、平成3年度に本発掘調査が実施され、古代の炭焼窯・製鉄炉が確認されているが、今回の調査では表土から明治期の小杉焼(第11図3)1点が出土したのみである。

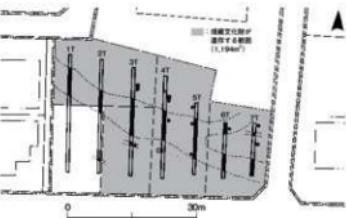


## 7. 高島A遺跡（第11図・図版8）

所 在 地 射水市鏡宮弥生2丁目76番 外2筆  
調査期間 平成27年10月5日・6日  
調査面積 対象面積: 1,416.76 m<sup>2</sup> 発掘面積: 116.6 m<sup>2</sup>  
調査原因 宅地造成  
調査担当者 田中 明・長田裕二  
検出遺構 弥生溝・中世土坑・不明溝・不明土坑  
出土遺物 弥生土器・古墳土師器・中世珠洲  
中世土師器

調査概要 調査対象地は、標高約 1.5 m の宅地であり、表土下約 80 cm で地山の明オリーブ灰色 (5GY7/1) シルト層が現れる。

周辺では、住宅建築等に伴う発掘調査により弥生時代の遺跡の広がりが確認されている。今回の調査において、弥生時代を中心とした遺構・遺物（第11図4～14）が確認されており、埋蔵文化財の保護措置が必要となる。



## 8. 大開遺跡

所 在 地 射水市黒河新4951-1  
調査期間 平成27年10月13日  
調査面積 対象面積: 588.29 m<sup>2</sup> 発掘面積: 21.76 m<sup>2</sup>  
調査原因 集合住宅建設  
調査担当者 田中 明・長田裕二  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし

調査概要 調査対象地は、大開遺跡範囲の東端に位置する雑種地で、比高差約 1.1 m の東向き傾斜地となっている。表土下約 20 cm で地山の明黄褐色 (2.5 Y6/6) シルト層が現れるが、遺構・遺物は確認できなかった。

調査対象地の西方で、東向き丘陵斜面を削って高台としているが、その造成時に調査対象地も削平を受けたと考えられる。



## 9. 加茂社遺跡

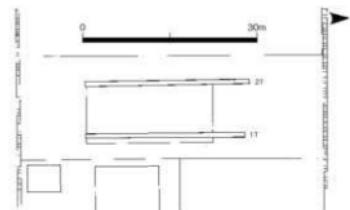
所在 地 射水市三ヶ2703-1  
調査期間 平成27年10月16日  
調査面積 対象面積:958.0m<sup>2</sup> 発掘面積:44.8m<sup>2</sup>  
調査原因 集合住宅建設  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし



調査概要 調査対象地は、加茂社遺跡南端部に位置する水田である。

上層から順に、灰色の水田耕作土、黒色の水田床土が堆積し、地山の浅黄色(5Y7/3)シルト層に至る。地山は、北側に向かって緩やかに傾斜している。

今回の調査において、遺構・遺物は確認できなかった。



## 10. 八塚C遺跡

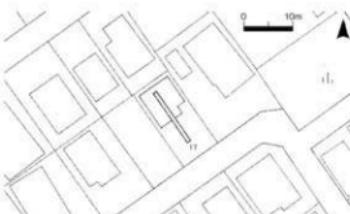
所在 地 射水市八塚1101-3  
調査期間 平成27年10月29日  
調査面積 対象面積:175.45m<sup>2</sup> 発掘面積:10.0m<sup>2</sup>  
調査原因 個人専用住宅建築  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし



調査概要 調査対象地は、八塚C遺跡範囲の北半に位置する造成済みの宅地である。

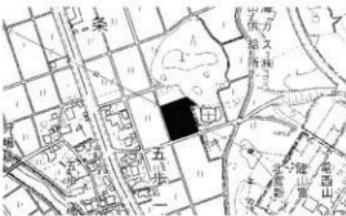
上層から順に、明褐色砂・明緑灰色の造成盛土、黄灰色の旧水田耕作土が堆積し、地山の灰白色(5GY8/1)シルト層に至る。

調査対象地の南東隣接地では、平成10年度の本発掘調査によって室町時代の寺院跡などが検出されているが、今回の調査において、遺構・遺物は確認できなかつた。



## 11. 五歩一遺跡（図版9）

所 在 地 射水市橋下条191番 外3筆  
調査期間 平成27年11月12日  
調査面積 対象面積: 4,147.0 m<sup>2</sup> 発掘面積: 130.5 m<sup>2</sup>  
調査原因 病院建設  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 不明土師器



## 調査概要

調査対象地は、五歩一遺跡範囲の中央西側に位置する水田であり、東側には、山王宮古墳群のある独立丘陵が隣接している。上層から順に、水田耕作土、オリーブ黒色シルトが堆積し、地山の明オリーブ灰色(5Y7/1)シルト層に至る。調査対象地の中央以西は、谷状地形となっている。

遺構は確認できず、土師器細片が出土したのみである。



## 12. 沖塚原東B遺跡

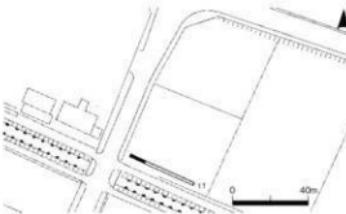
所 在 地 射水市沖塚原76-2 外2筆  
調査期間 平成27年12月22日  
調査面積 対象面積: 2,116.0 m<sup>2</sup> 発掘面積: 37.5 m<sup>2</sup>  
調査原因 資材置場造成  
調査担当者 稲垣尚美・長田裕二  
検出遺構 不明溝  
出土遺物 なし

## 調査概要

調査対象地は、沖塚原東B遺跡範囲の北東端部に位置する水田である。

上層から順に、オリーブ黒色の水田耕作土、黒色シルトが堆積し、地山の灰白色(5Y7/1)シルト層に至る。

1T西端で、幅10m以上、深さ約1.0mの溝を検出したが、遺物等は出土せず時期は不明である。その他遺構・遺物は確認できなかった。



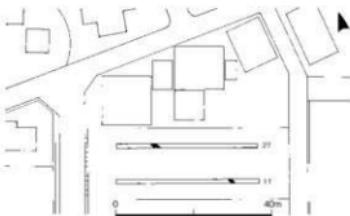
### 13. 大江遺跡（図版10）

所 在 地 射水市大江435番1  
調査期間 平成28年1月14日  
調査面積 対象面積: 939.0 m<sup>2</sup> 発掘面積: 72.5 m<sup>2</sup>  
調査原因 駐車場及び資材置場造成  
調査担当者 田中 明・長田裕二  
検出遺構 不明溝  
出土遺物 なし



調査概要 調査対象地は、大江遺跡範囲の北西端部付近に位置する水田であり、20cm程度の水田耕作土を除去すると、直下で地山の灰オリーブ色(7.5Y6/2)砂層が現れる。

調査対象地の約20m南方では、平成22年度の本発掘調査により中世の遺構が確認されているが、今回の調査では、1・2Tにおいて時期不明の溝を1条検出したのみである。

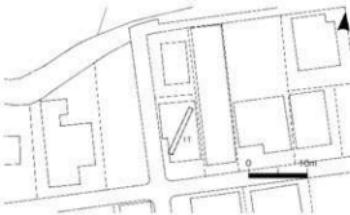


### 14. 黒河尺目遺跡

所 在 地 射水市中老田新字星丸550番21  
調査期間 平成28年2月26日  
調査面積 対象面積: 104.92 m<sup>2</sup> 発掘面積: 7.3 m<sup>2</sup>  
調査原因 個人専用住宅建築  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし



調査概要 調査対象地は、黒河尺目遺跡範囲の南端付近に位置する造成済みの宅地である。上層から順に、碎石、造成盛土、旧水田耕作土が堆積し、地山の淡黄色(5Y8/3)シルト層に至る。調査対象地の北西約50m地点では、昭和61年度の本発掘調査で古代・中世の掘立柱建物等が確認されているが、今回の調査では、遺構・遺物は確認できなかった。



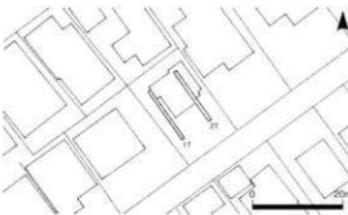
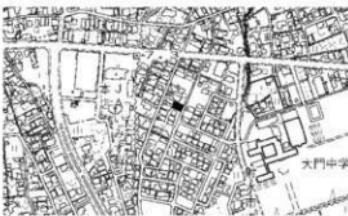
## 15. 八塚C遺跡

所 在 地 射水市二口字早畠1590番3 外1筆  
調査期間 平成28年2月26日  
調査面積 対象面積:329.0 m<sup>2</sup> 発掘面積:21.1 m<sup>2</sup>  
調査原因 個人専用住宅建築  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし

### 調査概要

調査対象地は、八塚C遺跡範囲の北西部に位置する造成済みの宅地である。

上層から順に、造成盛土、旧水田耕作土が堆積し、地山のオリーブ灰色(10Y6/2)シルト層に至る。調査対象地の南東隣接地では、平成10年度の本発掘調査によって室町時代の寺院跡等が検出されているが、今回の調査では、遺構・遺物は確認できなかった。



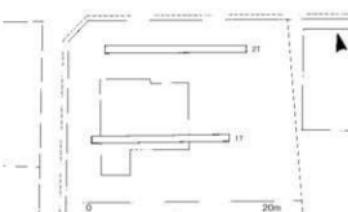
## 16. 塚越大沢II遺跡

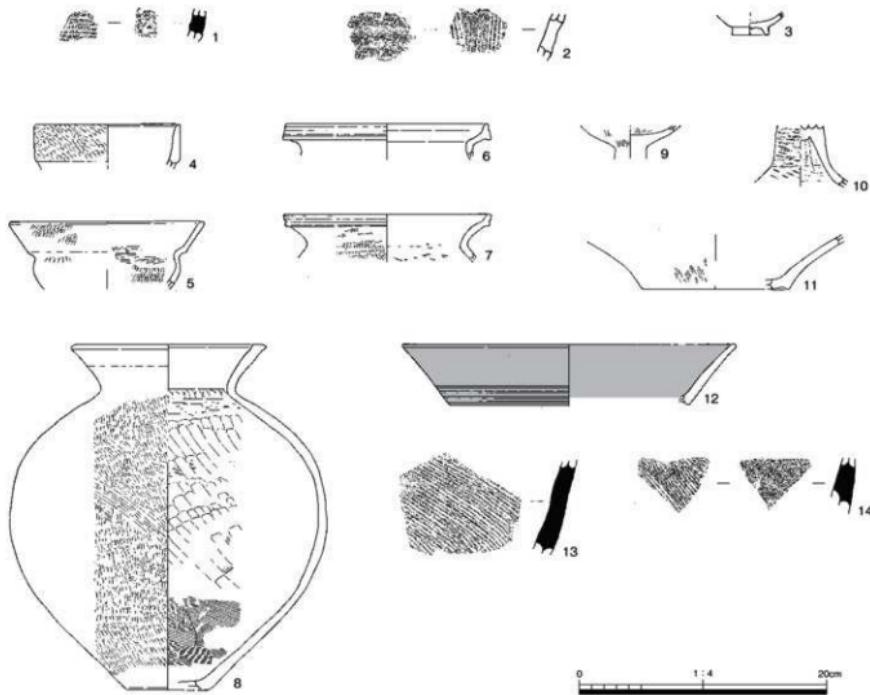
所 在 地 射水市塚越1835番  
調査期間 平成28年3月23日  
調査面積 対象面積:490.0 m<sup>2</sup> 発掘面積:24.3 m<sup>2</sup>  
調査原因 個人専用住宅建築  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし

### 調査概要

調査対象地は、塚越大沢II遺跡範囲の北東部に位置する畠地であり、調査時には対象地の大部分が整地のための山砂で覆われていた。上層から順に、明黄褐色の整地土、灰黃褐色の表土、褐灰色シルトが堆積し、地山の明オリーブ灰色(2.5GY7/1)シルト層に至る。

今回の調査において、遺構・遺物は確認できなかった。





第11図 遺物実測図〔水上遺跡(1・2)・塙越A遺跡(3)・高島A遺跡(4-14)〕(1/4)

図版	No.	出土地区	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	備考	残存量
第11図	1	1T	須恵器	壺(蓋)				水上遺跡 青海波文	破片
	2	1T	越中瀬戸	すり鉢				水上遺跡 銀輪	破片
	3	1T	小杉焼	碗			29	塙越A遺跡 緑釉	底は完全
	4	5T	弥生土器	壺	11.9			高島A遺跡	口13/16
	5	6T	弥生土器	鉢	15.7			高島A遺跡	口11/16
	6	7T	弥生土器	壺	16.2			高島A遺跡	口1/8
	7	7T	弥生土器	壺	16.8			高島A遺跡	口1/16
	8	5T	古墳土師器	壺	15.0	28.4	7.1	高島A遺跡	口15/6 体1/3
	9	6T	弥生土器	高环				高島A遺跡	破片
	10	5T	弥生土器	高环				高島A遺跡 外面一部赤彩	破片
	11	5T	弥生土器	(高環付)				高島A遺跡	破片
	12	6T	弥生土器	器台	27.2			高島A遺跡 内外面赤彩 橢円線文	口1/16
	13	4T	珠洲	壺				高島A遺跡	破片
	14	3T	珠洲	壺				高島A遺跡	破片

第4表 出土遺物観察表【試掘調査】

口：口縁部 底：底部 体：体部



1. 遺構全景  
(東から)



2. 土坑SK02  
(東から)



3. 满SD03  
(南から)



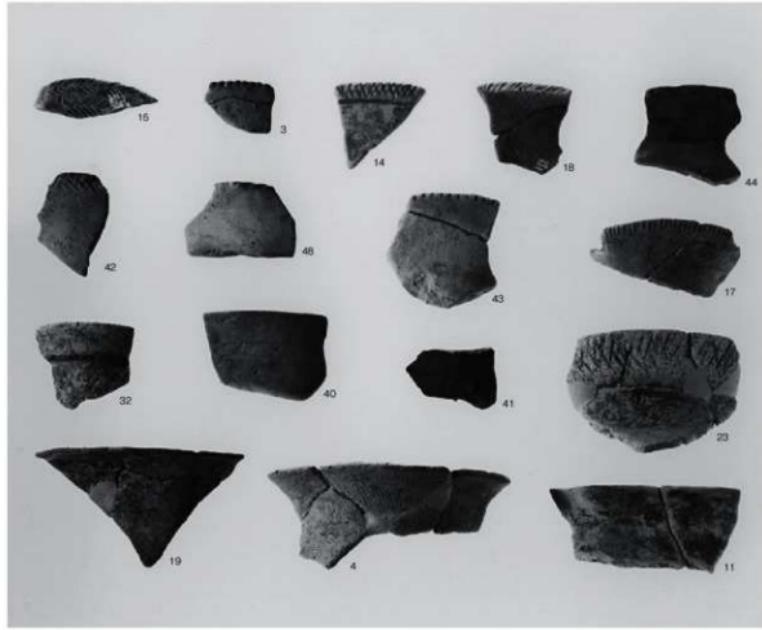
4. 土坑SK06  
(東から)



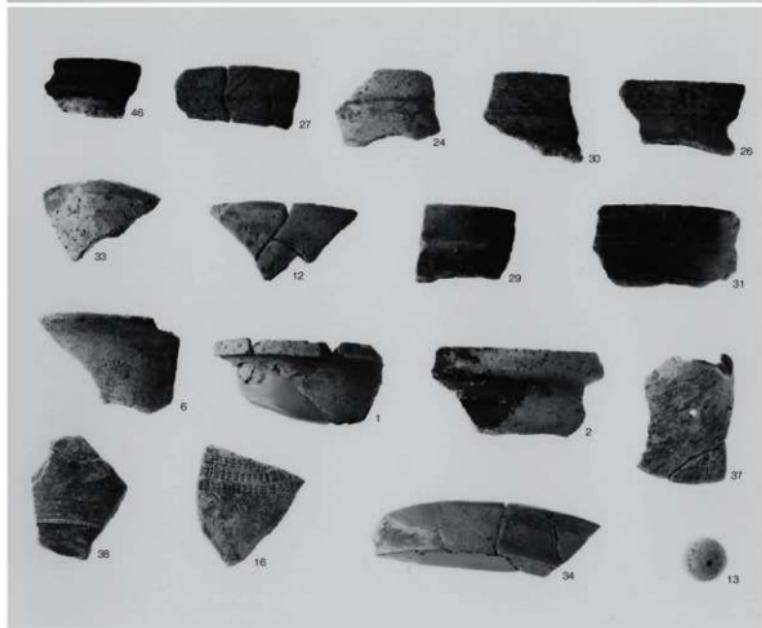
5. 土坑SK07  
(西から)

図版2 高島A遺跡〔12地区〕

出土遺物  
弥生土器



弥生土器  
土玉



出土遺物  
弥生土器

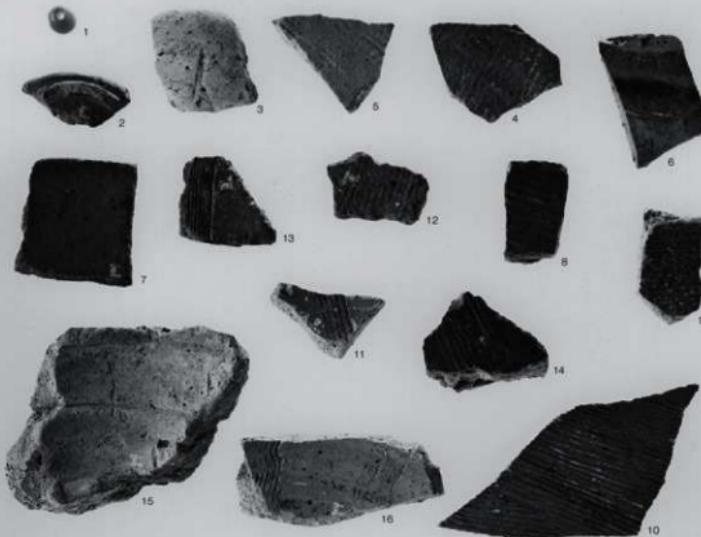


21



7

古墳ガラス玉  
古代須恵器  
中世珠洲



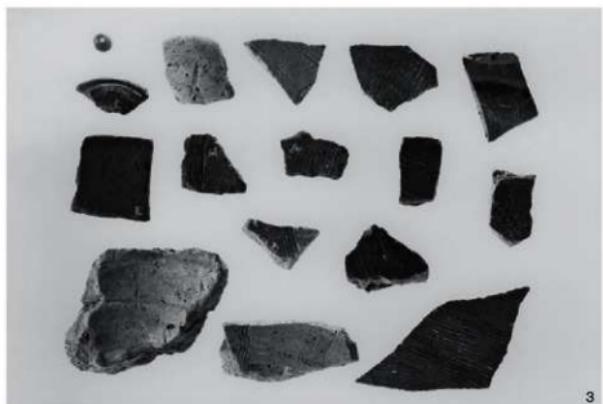
図版4 水戸田惣分I遺跡 工事立会調査



1. 表土掘削状況  
(西から)



2. 挖削完了状況  
(西から)



3. 出土遺物  
古墳ガラス玉  
古代須恵器  
中世珠洲

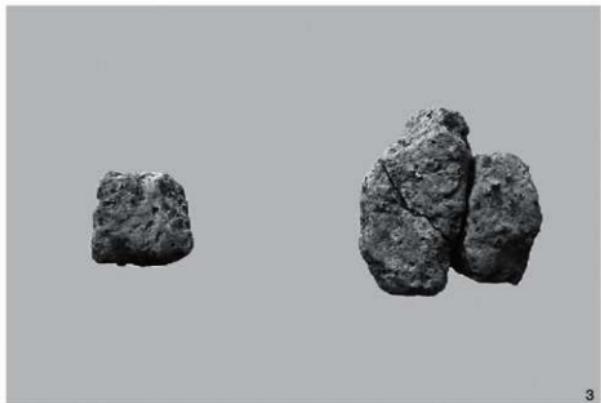
1. 1T全景  
(東から)



2. 1T土層断面  
(南から)



3. 出土遺物  
弥生土器



図版6 水上遺跡 試掘調査



1. 2T全景  
(西から)



2. 1T遺構検出  
(南から)



3. 出土遺物  
古代須恵器  
近世陶磁器  
不明土師器

塚越 A 遺跡 試掘調査 図版 7

1. 調査対象地全景  
(西から)



2. 1T土層断面  
(西から)



3. 出土遺物  
明治小杉焼



図版8 高島A遺跡 試掘調査



1. 3T全景  
(北から)



2. 4T遺構検出  
(東から)



3. 出土遺物  
弥生土器  
古墳土師器  
中世土師器  
中世珠洲

1. 調査対象地全景  
(南から)



2. 4T土層断面  
(北から)



3. 出土遺物  
不明土師器



図版10 大江遺跡 試掘調査



1. 調査対象地全景  
(東から)



2. 2T全景  
(西から)



3. 2T遺構検出  
(東から)

## 報告書抄録

ふりがな	いみずしないいせきはくつちょうさほうこくきゅう							
書名	射水市内遺跡発掘調査報告9							
副書名	平成27年度高島A遺跡本発掘調査他							
編著者名	金三津英則							
編集機関	射水市教育委員会							
所在地	〒939-0284 富山県射水市新開発410番地1 Tel 0766-51-6637							
発行年月日	西暦2017年2月28日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
なかしま 高島A遺跡	いみずし かののみやかなよい 射水市鏡宮弥生	市町村	遺跡番号	36°45'15"	137°05'13"	平成27年度 20150507～ 20150522	64	個人専用住宅建築
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
高島A遺跡	集落・散布地	弥生・中世		弥生溝・弥生土坑		弥生土器・古墳土師器 中世珠洲		
要約	弥生時代中期から古墳時代前期の土器を多量に含む土器溜りを検出した。							

\*試掘調査の抄録は第3表を参照下さい。

## 射水市内遺跡発掘調査報告9

-平成27年度高島A遺跡本発掘調査他-

---

2017(平成29)年2月28日 発行  
編集・発行 射水市教育委員会  
〒939-0284  
富山県射水市新開発410番地1  
TEL 0766-51-6637  
印 刷 能登印刷株式会社

---

